エ		事			仕			様		_	書		
年 度	令;	和	_	7		年	度						
番号	河•i	改 第	与			号							
道路名	普	通	河	JI	沙	. 魚	į JI						
履行場所	鳥	羽	市	安	楽	島	町	地	内				
工事名	普	通	河	Л	沙力	魚	} 	П	改	修	I	事	
設計金額	一金								円也				
工期	令和	和 8	年	3	月	16	日限	り					
		エ		事	の		概	要					
施工延• 養河 法擁 付付 構 仮 と 選 工 選 工 道 工 道 工 道 工 道 工 道 工 道 工 道 工 道 工	二 営工 各施設工				N=1 N=1	式 .37m2 式 式 式							
			 起		工.	 理	1	由					

	工事名	普通河川流	少魚川河川改修工事			当初		事業区分	河川改修		
								工事区分	区分 築堤・護岸		
工事区统	分・工種・種別・細胞	別	規格	単位	前回数	量	今回数量	1	数量増減		要
築堤·護岸				式			1				
河川土工				式			1				
掘削工				式			1				
掘削			土質土砂;施工方法片切掘削	m3			130				
床掘				m3			40				
埋戾				m3			10				
残土処理工				式			1				
整地			作業区分残土受入れ地での処理	m3			180				

工事名	普通河川沙魚川河川改修工事			当初		事業区分	河川改修	
						工事区分	築堤・護岸	
工事区分・工種・種別・細	別規格	単位	前回数	量	今回数量		数量増減	摘要
土砂等運搬	土質土砂(岩塊・玉石混り土含む)	m3			180			
法覆護岸工		式			1			
コンクリートプ・ロック工 (コンクリートプ・ロック積)		式			1			
コンクリート積	1:0.5,控35cm 積ブロック300*300*35 0	m2			137			
目地板	目地板の種類瀝青質目地板 t=10	m2			5			
胴込· 裏込材(砕石)	砕石規格再生砕石 RC-40	m3			49			
基礎工		m			60			
小口止工(1)		箇所			1			

工事名 普通河川	沙魚川河川改修工事		当初	事業区分 河川改	
				工事区分 築堤・詰	
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位 前回数:	量 今回数	数量 数量增減	摘要
小口止工(2)		箇所		1	
擁壁工		式		1	
天端工	18-8-40BB	式		1	
吐口擁壁工		式		1	
付帯道路施設工		式		1	
アスファルト舗装工		式		1	
上層路盤(車道・路肩部)	路盤材種類粒度調整砕石 M-30;仕上り 厚100mm	m2	2	41	
表層(車道・路肩部)	材料種類再生密粒度アスコン(13);舗装厚5 0mm;平均幅員1.4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm以下)	m2	2	41	

	[事名	普通河川沙魚川河川改				当初		事業区分	河川改修			
								工事区分		•		
工事区分・工種・種別	別・細別	IJ	規格	単位	前回	数量	今回数		数量増減		摘要	
側溝工				式			1					
U型側溝		300A,3種		m			61					
蓋設置工				式			1					
管渠工				式			1					
台付管		300		m			1					
塩ビ管		VP 250		m			0	.6				
集水桝工				式			1					
集水桝				箇所			2					

工事	名 普通河川沙魚川河川改修	江事			当初		事業区分	河川改修		
							工事区分	区分 築堤・護岸		
工事区分・工種・種別・	細別	規格	単位	前回数量	Ē	今回数量		数量増減		要
付帯工			式			1				
底張コンクリート工			式			1				
コンクリート		r	n3			39				
基礎栗石	割栗石50-150r		n2			184				
補足材	割栗石50-150r	mm r	n3			10				
アンダードレイン工		:	Ξţ			1				
アンダードレンエ		1	箇所			12				
止水壁工			式			1		_		

工事名 普通河川	沙魚川河川改修工事		当初	事業区		
				工事区	分 築堤・護岸	
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位 前回数	量今回	数量	数量増減	摘要
止水壁	'18-8-40BB	式		1		
構造物撤去工		式		1		
防護柵撤去工		式		1		
防護柵撤去(ガードレール)		m		60		
標識撤去工		式		1		
標識移設	撤去、再設置共	基		1		
構造物取壊し工		式		1		
コンクリート構造物取壊し	構造物区分無筋構造物;工法区分機械 施工	m3		0.9		

工事名	通河川沙魚川河川改修工事		当初		事業区分		
					工事区分	築堤・護岸	
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	前回数量	今回数	量	数量増減	摘要
舗装版切断	舗装版種別アスファルト舗装版;アスファルト舗装版厚15cm以下	m		61			
舗装版破砕	舗装版種別アスファルト舗装版;舗装版厚5cm	m2		44	ŀ		
運搬処理工		式		1			
殼運搬	殻種別アスファルト殻	m3		2	2		
殼運搬	殻種別コンクリート殻(無筋)	m3		().9		
殼処分	殻種別アスファルト殻	m3		2	2		
殼処分	殻種別コンクリート殻(無筋)	m3		().9		
現場発生品運搬	発生材種類現場発生品運搬	t		().82		

工事名 普通河川	少魚川河川改修工事		当初		事業区分 河川改修			
				工事	区分 築堤・護岸			
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位前回	数量	今回数量	数量増減	摘要		
仮設工		式		1				
土留·仮締切工		式		1				
大型土のう	大型土のう規格	式		1				
水替工		式		1				
ポンプ排水	排水量120以上450(m3/h)未満;全揚程1 0m;排水方法作業時排水	箇所		1				
交通管理工		式		1				
交通誘導警備員		人目		29				
直接工事費		式		1				

工事名 普通河川	沙魚川河川改修工事		当初	事業区分 河川改修	
				工事区分 共通仮設	費
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位前回数量	量 今回数	2量 数量増減	摘要
共通仮設		式		1	
共通仮設費 (率計上)		式		1	
純工事費		式		1	
現場管理費		式		1	
工事原価		式		1	
一般管理費等		式		1	
スクラップ評価額		式		1	
工事価格		式		1	

工事名 普通河川流	少魚川河川改修工事		当初	事業区分	河川改修 共通仮設費	
 工事区分・工種・種別・細別	規格	単位 前回数	量 今回数		以 <u>共地区</u> 设员	摘要
消費税相当額		式				
				1		
		式		1		

工事区分 (レベル1)	工 (レベル2)	種 別 (レベル3)	細 別 (レベル4)	規 格 (レベル5)	単位	数量	備 考
護岸工事					式	1	
	河川土工				式	1	
		掘 削 工			式	1	
			掘削	土砂	m3	130	
		作業土工			式	1	
			床掘	土砂	m3	40	
			埋戻	流用土	m3	10	
		残土処理工			式	1	
			土砂等運搬	土砂	m3	180	
			整地	土砂	m3	180	
	法覆護岸工				式	1	
		コンクリートブロック工			式	1	
			ブロック積	1:0.5, 控35cm 積ブロック 300*300*350	式 (m2)	1 (137)	

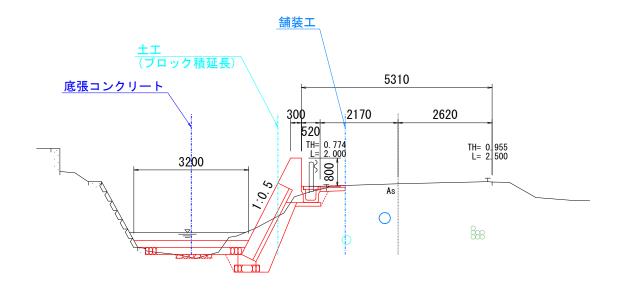
工事区分 (レベル1)	工 種 (レベル2)	種 別 (レベル3)	細 別 (レベル4)	規 (レベル5)	単位	数量	備考
	擁 壁 工				式	1	
		天 端 コ	-	18-8-40BB	式	1	
		吐口擁壁コ	-	18-8-40BB	式	1	
	付帯道路工				式	1	
		アスファルト舗装	ŧΙ		式	1	
			路盤	粒度調整砕石,M-30,t=10cm	m2	41	
			表層	再生密粒度アスコン, Top13, t=5cm	m2	41	
		側溝	-		式	1	
			U型側溝	300A, 3種	m	61	
			集水蓋	300用	枚	7	
			コンクリート蓋	B300, 3種	枚	115	
		管 渠]	-		式	1	
			台付管	φ 300	m	1	

工事区分 (レベル1)	工 種 (レベル2)	種 別 (レベル3)	細 別 (レベル4)	規 格 (レベル5)	単位	数量	備考
			塩ビ管	VP φ 250	m	0.6	
		集水桝工			式	1	
			集水桝	プレキャスト桝 300×300×700	箇所	2	
	付 帯 工				式	1	
		底張コンクリートエ			式	1	
			コンクリート	18-8-25BB, t=20cm	m3	39	
			基礎栗石	割栗石50-150mm, t=20cm	m2	184	
			補足材	割栗石50-150mm	m3	10	
		アンダードレンエ		5m/箇所	箇所	12	
		止水壁工			式	1	
			止水壁	18-8-40BB	式 (m3)	1 (0. 52)	

工事区分 (レベル1)	工 種 (レベル2)	種 別 (レベル3)	細 別 (レベル4)	規 格 (レベル5)	単位	数量	備考	
	構造物撤去工				式	1		
		防護柵撤去工			式	1		
			防護柵撤去	Gr-C-4E	m	60		
		標識撤去工			式	1		
			標識撤去·移設	撤去、再設置共	基	1		
		構造物取壊し工			式	1		
			コンクリート取壊し	無筋構造物造物	m3	0.9		
			舗装版切断	As, t=10cm以下	m	61		
			舗装版取壊し	As, t=5cm	m2	44		
		運搬処理工			式	1		
			殼運搬	As殼	m3	2		
			殼運搬	Co殼,無筋	m3	0.9		
			現場発生品運搬	鉄スクラップ	t	0.82		

工事区分 (レベル1)	工 種 (レベル2)	種 別 (レベル3)	細 別 (レベル4)	規 (レベル5)	格)	単位	数	量	備	考
	仮 設 工					式	1			
		仮締切工				式	1			
			大型土のう設置・撤去			袋	32			
			大型土のう設置	耐久性袋		袋	3			
		ポンプ排水				式	1			
			ポンプ設置・撤去			箇所	1			
			ポンプ運転			日	31			
		交通管理工				式	1			
			交通誘導警備員	交通誘導警備	員B	人日	29			

参考図(測点間距離計測位置)



河川土工集計表

名 称	規 格	単位	数量	備 考
掘削工		式	1	
掘削	土砂	m3	132.2	
作業土工		式	1	
床掘	土砂	m3	36.8	
埋戻	流用土	m3	12.8	
残土処理工		式	1	
土砂等運搬	土砂	m3	184.8	
整地	土砂	m3	184.8	

河川土工集計計算書			1式当り
1. 掘削工 掘削(土砂) 計算用紙より 132.2	=	132. 2	m3 132. 2
2. 作業土工			
2-1. 床掘(土砂) 計算用紙より 36.8	=	36.8	m3 36.8
2-2. 埋戻(流用土) 計算用紙より 12.8	=	12.8	m3 12.8
3. 残土処理工 土砂等運搬(土砂) 大型土のう撤去分 132.20 + 36.8 + 30.0 - 12.8 ÷ 0.9 整地土砂)	=	184. 8	m3 184.8
金地工(7)	=	184. 8	m3 184.8

土 工 計 算 用 紙

測点	距離	掘 (土	削 砂)				摘 要
	(m)	A	V				
SP. 2 + 0.700	0.000	1.9	_				
SP. 2 + 4.482	3. 782	2. 1	7. 6				NO. 3+8. 50 ブロック積参照
同所	0.000	0.6	-				NO. 3+8. 50 吐口工参照
No. 3 + 8.500	0.804	0.6	0.5				NO. 3+8. 50 吐口工参照
No. 3 + 9.046	0. 546	0.6	0.3				NO. 3+8. 50 吐口工参照
同所	0.000	2. 1	_				NO. 3+8. 50 ブロック積参照
No. 3 + 18.800	9. 170	2.0	18.8				
NO. 4	1. 130	2. 3	2. 4				
小 計①	15. 432		29. 6				

土 工 計 算 用 紙

Hu F	口口、放化	掘 (土					12/2 :	#
測点	距 離 (m)	A	V				摘	要
NO. 4	0.000	2. 3	_					
EC. 2	5. 554	2. 1	12. 2					
NO. 5	14. 105	1. 9	28. 2					
No. 5 + 16.300	16. 305	2. 2	33. 4					
NO. 6	3. 701	2.6	8. 9					
NO. 6 + 6.400	6. 410	3.6	19. 9					
小 計②	46. 075		102. 6					
合 計(①+②)	61. 507		132. 2					

作業土工計算用紙

			掘	埋戻				
測点	距離	(土	砂)	(流月	用土)			摘 要
	(m)	A	V	A	V			
SP. 2 + 0.700	0.000	0.6	_	0. 2	_			
SP. 2 + 4.482	3. 782	0.6	2. 3	0. 3	0. 9			NO. 3+8. 50 ブロック積参照
同所	0.000	0. 5	_	0. 1	_			NO. 3+8. 50 吐口工参照
No. 3 + 8.500	0.804	0.5	0.4	0. 1	0. 1			NO. 3+8. 50 吐口工参照
No. 3 + 9.046	0. 546	0. 5	0. 3	0. 1	0. 1			NO. 3+8. 50 吐口工参照
同所	0.000	0.6	-	0. 3	_			NO. 3+8. 50 ブロック積参照
No. 3 + 18.800	9. 170	0.6	5. 5	0. 2	2. 3			200
NO. 4	1. 130	0.6	0. 7	0. 2	0. 2			
小計①	15. 432		9. 2		3.6			

作業土工計算用紙

		床		埋					
測点	距 離 (m)	(土 A	砂) V	(流月 A	月土) V			摘	要
NO. 4	0.000	0.6	-	0.2	_				
EC. 2	5. 554	0.6	3. 3	0. 2	1. 1				
NO. 5	14. 105	0.6	8.5	0.2	2.8				
No. 5 + 16.300	16. 305	0.6	9.8	0.2	3. 3				
NO. 6	3. 701	0.6	2.2	0.2	0.7				
NO. 6 + 6.400	6. 410	0.6	3.8	0.2	1.3				
小 計②	46. 075		27.6		9. 2				
合 計(①+②)	61. 507		36. 8		12.8				

法 覆 護 岸 工 集計表

名称	規格	単 位	数量	備考
コンクリートブロックエ		式	1	
ブロック積	1:0.5, 控35cm 積ブロック300*360	m2	136. 9	
胴込コンクリート	18-8-25BB	m3	30. 1	
裏込コンクリート	18-8-25BB	m3	13. 7	
伸縮目地	瀝青質板, t=10mm	m2	5. 3	
裏込材	RC-40	m3	48. 9	
基礎工		m	60. 3	
小口止工(1)		箇所	1	
小口止工(2)		箇所	1	

											1式当り
ブロック	積	擁壁	\perp								
				-							
· ~ ~ + t=	(1.0	E 140 E	\								
1. ブロック積			m <i>)</i>								
SP. 2~吐口:	搾 壁										
1/2	×	(0.000	+	2.061)	X	(0.000	+	2.060)	=	2. 123	
1/4	X	•	+	2.063)	×	(1.722)	+	1.722)	=	3. 551	(5.674)
吐口擁壁~]											
1/4	×	(2.064)	+	2.072)	\times	(8.870	+	8.870)	=	18. 343	
1/4	×	•	+	2.073)	×	(1. 130	+	1.027)	=	2. 235	
1/4	×	•	+	2.078)	×	(5.554)	+	5. 454)	=	11. 424	
1/4	×	•	+	2.081)	\times	(4.446)	+	,	=	9. 140	
1/4	×	•	+	2.089)	\times	(9.659)	+	9.659)	=	20. 139	
1/4	\times	•	+	2.097)	×	(10.000)	+	10.000)	=	20. 930	
1/4	×	•	+	2. 102)	×	(6. 305	+	•	=	13. 237	
1/4	×	(2. 102	+	2. 105)	×	(3. 701	+	3. 701)	=	7. 785	
1/4	×	(2.105)	+	2. 110)	X	(6. 410	+	6.410)	=	13. 509	(116. 742)
									<u></u>	100 410	
									計 =	122. 416	0
122. 416	×	1. 118							=	136. 861	m2 136.86
122. 410		1. 110							_	130.001	130.00
(参考)											
SP. 2~먼	上口扬	崖壁									
5.674	×	1. 118	=	6.344	÷	6.34	m2				
吐口擁壁	Ĕ∼N	0. 6+6. 40									
116. 742	X	1. 118	=	130. 518	÷	130. 52	m2				
2. 胴込コンク	リー	ト (18-8-	25B	B)							
国土交通省							設計	·量より			
ブロック質	[量1	50kg/個月	き満	の場合2.	2m3	/10m 2					
100.001		0.0		1.0						00.100	m3
136. 861	X	2. 2	÷	10					=	30. 109	30. 11
3. 裏込コンク	11 —	۱ (19–9–	95B	B)							
0. 衣心ロック)	1. (10.0-	2 UD	עי/							m3
136. 861	×	0.10							=	13. 686	13. 69
100,001	/\	0.10								10.000	10.00

0.45×2.318	=	1. 043	
0.45×2.327	=	1.047	
0.45×2.336	=	1.051	
0.45×2.345	=	1.055	
0.45×2.353	=	1.059	
	計 =	5. 255	5. 26
5. 裏込材(RC-40)			
計算用紙より			
48. 45 + 0. 45	=	48. 900	48.90
ブロック積擁壁構造図より			
6. 基礎工 展開図より			
4.482 + 9.897 + 9.799 + 9.659 + 10.000 + 10.006 + 6.410	=	60. 253	60. 25
10.000 1 10.000 1 0.110		00. 200	00.20
7. 小口止工(1) 展開図より			筃
1	=	1. 000	1
8. 小口止工(2) 展開図より			笛
1 1	=	1.000	1

コンクリートブロックエ 計 算 用 紙

			∆材 `				
測点	距離	(RC-	-40) V				摘 要
	(m)	A	V				
							NO. 1参照
SP. 2 + 0.700	0.000	0.71	-				
SP. 2 + 4.482	3. 782	0.71	2. 69				NO. 3+8. 50ブロック 積参照
No. 3 + 9.346	0.000	0.71	_				NO. 3+8. 50ブロック 積参照
No. 3 + 18.800	8. 870	0.77	6. 56				
NO. 4	1. 130	0.77	0.87				
EC. 2	5. 554	0.78	4. 30				
NO. 5	14. 105	0.81	11. 21				
No. 5 + 16.300	16. 305	0.85	13. 53				
小計①	49. 746		39. 16				

コンクリートブロックエ 計 算 用 紙

測点	距離	裏) (RC-	込材 -40)				摘	要
24 711	(m)	A	V				41.4	
No. 5 + 16.300	0.000	0.85	-					
NO. 6	3. 701	0. 91	3. 26					
No. 6 + 6.400	6. 410	0.97	6.03					
小 計②	10. 111		9. 29					
合 計(①+②)	59. 857		48. 45					

<u>基礎工</u>		10m当り
1. コンクリート(18-8-40BB)		
$(0.50 \times 0.30 - 1/2 \times 0.40 \times 0.20) \times 10.00 =$	1. 100	m3 1.10
2. 同上型枠 (0.30 + 0.10) × 10.00 =	4. 000	m2 4.00
	1.000	1.00
3. 伸縮目地(瀝青質板, t=10mm) 0.50 × 0.30 - 1/2 × 0.40 × 0.20 =	0. 110	m2 0.11
4. 基礎材(RC-40, t=20cm)		m2
0.70 × 10.00 =	7. 000	7. 00
5. 基面整正 0.70 × 10.00 =	7. 000	m2 7.00

1. コンクリート (18-8-40BB)	小口止工	. (1	.)							1箇所当り
1/2 × (0.507 + 0.732) × 0.450 × 0.30 = 0.084 m 計 = 0.599 0.60 2. 化粧型枠 = 0.860 0.86 3. 一般型枠 = 0.860 = 1.716 1/2 × (0.803 + 0.994) × 1.910 = 1.716 1/2 × (0.507 + 0.732) × 0.450 = 0.279 計 = 1.995 = 3.990 3.99				3)						
2.868 × 0.300 = 0.860 0.86 3. 一般型枠 1/2 × (0.803 + 0.994) × 1.910								=	0.084	
2.868 × 0.300 = 0.860 0.86 3. 一般型枠 1/2 × (0.803 + 0.994) × 1.910 = 1.716 1/2 × (0.507 + 0.732) × 0.450 = 0.279 計 = 1.995 計 = 1.995 4. 基面整正 Image: arrow of the property of th	2. 化粧型枠									
1/2 × (0.803 + 0.994) × 1.910 = 1.716 1/2 × (0.507 + 0.732) × 0.450 = 0.279 計 = 1.995 = 3.990 3.99 3.99	2. 868	×	0.300					=	0.860	
1/2 × (0.507 + 0.732) × 0.450 = 0.279 計 = 1.995 = 3.990 3.99 4. 基面整正 m	3. 一般型枠									
1.995 × 2 = 3.990 <u>3.99</u> 4.基面整正							計	=	0. 279	
n	1. 995	×	2					=	3. 990	
	4. 基面整正									
	0. 994	×	0.300					=	0. 298	

<u>小口1</u>	ŁТ	(2	<u>:)</u>							1箇所当
1. コンク	ァリー	ト(1	8-8-40BE	3)						
	1/2 1/2				0. 994) 0. 732)			= = = 計 =	0. 515 0. 084 0. 599	0.60
2. 化粧雪	型枠									
2	. 867	×	0.300					=	0.860	0.86
3. 一般雪	型枠									
					0. 994) 0. 732)			= = 計 =	1. 715 0. 279 1. 994	
1	. 994	×	2					=	3. 988	3. 99
4. 基面整	 怪正									
0	. 994	×	0.300					=	0. 298	0.30

擁 壁 工 集計表

名 称	規格	単位	数量	備考
天端工	18-8-40BB	式	1	
吐口擁壁工	18-8-40BB	式	1	

			1 -1: \/ /0
			1式当り
天端工			
<u> </u>			
1. コンクリート(18-8-40BB)			
計算用紙より			m3
35. 35	=	35. 35	35. 35
00.00		00.00	00.00
(参考)			
SP. 2~吐口擁壁			
1. 05 m3			
吐口擁壁~N0.6+6.40			
34.30 m3			
2. 同上型枠			
側面部			
NO. 6+6. 40			
0.74	=	0.740	
道路立上り部			
H 延長			
0.80×58.397	=	46.718	
護岸側立上り部			
$1/2 \times (0.682 + 0.682) \times 2.028$	=	1. 383	
$1/2 \times (0.682 + 0.805) \times 9.170$	=	6.818	
$1/2 \times (0.805 + 0.805) \times 1.130$	=	0.910	
$1/2 \times (0.805 + 0.827) \times 5.554$	=	4. 532	
$1/2 \times (0.827 + 0.837) \times 4.446$	=	3. 699	
$1/2 \times (0.837 + 0.861) \times 9.659$	=	8. 200	
$1/2 \times (0.861 + 0.916) \times 10.000$	=	8. 885	
$1/2 \times (0.916 + 0.950) \times 6.305$	=	5. 883	
$1/2 \times (0.950 + 1.062) \times 3.701$	=	3. 723	
$1/2 \times (1.062 + 1.190) \times 6.410$	=	7. 218	_
	⇒ 1	00.700	m2
	計 =	98. 709	98. 71

天 端 工 計 算 用 紙

		コンク	リート					
測 点	距離	(18-8-	-40BB)					摘 要
	(m)	A	V					
CD 0 1 0 700	0.000	0.50						
SP. 2 + 2.760	0.000	0. 52	_	(参考)				NO. 3+8. 50
SP. 2 + 4.782	2. 022	0. 52	1.05	小計	(1.05)			ブロック積参照
No. 3 + 9.046	0.000	0. 52	_					NO. 3+8. 50 ブロック積参照
10. 0 . 0.010	0.000	0.02						フロファ 頂参加
NO. 3 + 18.800	9. 170	0. 57	5. 00					
NO. 4	1. 130	0. 57	0.64					
EC. 2	5. 554	0. 58	3. 19					
EU. Z	0. 00 <u>4</u>	0.00	3. 19					
No. 5	14. 105	0.60	8. 32					
No. 5 + 16.300	16. 305	0.64	10. 11					
小計①	48. 286	4. 52	28. 31					

防 護 壁 工 計 算 用 紙

測点	距離	コンク (18-8-						摘	要
D.9	(m)	A	V					31/3	~
No. 5 + 16.300	0.000	0.64	1						
NO. 6	3. 701	0.69	2. 46	(/ > -lw \					
No. 6 + 6.400	6. 410	0.74	4. 58	(参考) 小計	(34. 30)				
小 計②	10. 111	2. 1	7.04						
合 計(①+②)	58. 397	6.6	35. 35						

											1式当り
<u>吐口</u>	<u>雍壁</u>]	<u>→</u>									
1. コン:	クリート(18-8-40BB	3)								
	1/2 ×	(0. 282	+	0.800)	×	1.035	×	1. 35	=	0. 756	0.76
2. 同上	刑枕										
側面部	部	(0. 282	+	0.800)	×	1. 035	×	2	=	1. 120	
河川(側立上り音 1.157 ×	ß							=	1. 562	
									計 =	2. 682	m2 2.68
2 甘花林	対(RC-40,	+-20 am)									
	0.90 ×								=	1. 215	m2 1.22
4. 基面											m2
(0.90 ×	1. 35							=	1. 215	1. 22

付 带 道 路 工 集計表

名 称	規格	単位	数量	備 考
アスファルト舗装工		式	1	
路盤	粒度調整砕石 M-30,t=10cm	m2	41. 2	
表層	再生密粒度アスコン TOP13,t=5cm	m2	41. 2	
側溝工		式	1	
U型側溝	300A, 3種	m	61. 0	
集水蓋	300用	枚	7. 0	
コンクリート蓋	B300,3種	枚	115.0	
管渠工		式	1	
台付管	φ 300	m	1. 1	
塩ビ管(B)	VP φ 250	m	0.6	
集水桝工		式	1	
集水桝	$300\times300\times700$	箇所	2	

			1式当り
アスファルト舗装工			
1. 路盤(粒度調整砕石, M-30, t=10cm) 計算用紙より 41.20	=	41. 20	m2 41.2
 表層(再生密粒度アスコン, TOP13, t=5cm) 計算用紙より 41.20 	=	41. 20	m2 41.2

舗 装 計 算 用 紙

			盤	表	·層		
測点	距離	M-30, t	t=10cm	As, t	=5cm	 	摘要
	(m)	L	A	L	A		
SP. 2 + 2.760	0.000	0.70	1	0.70	_		
SP. 2 + 4.782	2. 022	0.70	1.42	0.70	1.42		NO. 3+8. 50 ブロック積参照
No. 3 + 9.113	0. 000	0.70	_	0.70	_		NO. 3+8. 50 ブロック積参照
NO. 3 + 18.800	9. 389	0.70	6. 57	0. 70	6. 57		
NO. 4	1. 173	0.70	0.82	0.70	0.82		
EC. 2	5. 764	0.70	4.03	0.70	4. 03		
NO. 5	14. 105	0.70	9.87	0.70	9.87		
NO. 5 + 16.300	16. 304	0.70	11. 41	0.70	11. 41		
小計①	48. 757		34. 12		34. 12		

舗 装 計 算 用 紙

			盤	表					
測点	距離	M-30, 1	t=10cm	As, t	=5cm			摘	要
	(m)	L	A	L	A				
No. 5 + 16.300	0.000	0.70	_	0.70	_				
NO. 6	3. 701	0.70	2. 59	0.70	2. 59				
No. 6 + 6.400	6. 413	0.70	4. 49	0.70	4. 49				
小 計②	10. 114		7. 08		7. 08				
合 計(①+②)	58. 871		41. 20		41. 20				

付帯道路工 延 長 調 書													
名 称				位			置			数	量	摘	要
			自				至		左・右			31/3	
側溝工													
U型側溝	SP.	2			SP.	2	+	4.61	左	4.	61		
	NO.	3	+	9. 68	NO.	6	+	6. 40	左	56.	08		
									計	60.			
管渠工													
台付管													
	NO.	3	+	18.80	付近				左	1.	09		
									計	1.			
塩ビ管	NO.	5	+	16.30	付近				左	0.	64		
									計	0.			
									HI				
集水桝工													
集水桝	SP.	2	+	4. 87	付近				左]	1		
212.4				9. 42					左]			
										2篖	i所		

U型側溝			10m当り
1. U型側溝			
(300A, 3種)	=	10.000	10.00
2. 均しコンクリート(18-8-25BB)			m:
$1/2 \times (0.669 + 0.709) \times 0.10 \times 10.00$	=	0. 689	0.69
3. 基面整正 0.709 × 10.00	=	7. 090	m. 7. 09
0.103 / 10.00		1.000	1.00

<u>台付管工</u>	当り
_ 	
1. 台付管	
$(\phi 300) = 10.000 $	m 00

			10m当り
<u>塩ビ管</u>			10111=1 9
1. 硬質塩化ビニル管(VP)			m
(φ 250)	=	10.000	10.00

₩ ÷п Р			1式当り
<u> 蓋設置工</u>			
1. 集水蓋(300用)			
61.00 / 10.00 = 6.10	÷	7	枚 7
2. コンクリート蓋(300,3種)			
$(61.00 / 2) \times 4$		122	枚
122.00 - 7.00	=	115	115

<u>集水桝工</u>					10箇所当り
<u>未 / / 上</u>					
1. プレキャスト桝(300×300×700					
			=	10.000	個 10
2. インバートコンクリート(18-8-	5BB)				m3
$0.30 \times 0.30 \times 0.$	10 ×	10	=	0.090	0.09
the the second s					
3. 基礎コンクリート(18-8-25BB)					m3
$0.60 \times 0.60 \times 0.$	10 ×	10	=	0. 360	0.36
4. 同上型枠					
0.60 × 0.10 ×	×	10	=	2. 400	m2 2. 40
				_, _,	
5. 基礎材(RC-40, t=10cm)					. 6
0.70 × 0.70 ×	0		=	4. 900	4. 90
6. 基面整正					m2
$0.70 \times 0.70 \times$	0		=	4. 900	4. 90
7. グレーチング蓋(300×300, T-25)					
			=	10. 000	枚 10
				10.000	10

付 带 工 集計表

名 称	規格	単位	数量	備考
底張コンクリート工		式	1	
コンクリート	18-8-25BB, t=20cm	m3	39. 4	
基礎栗石	割栗石 50-150mm,t=20cm	m2	184. 3	
補足材	割栗石,50-150mm	m3	9. 6	
アンダードレンエ	5m/箇所	箇所	12	
止水壁工		式	1	
止水壁	18-8-40BB	式 (m3)	1 (0. 52)	

			1式当り
<u> 底張コンクリート工</u>			
1. コンクリート(18-8-25BB, t=20cm) 計算用紙より			m3
197.16×0.20	=	39. 43	39. 43
2. 基礎栗石(割栗石50-150mm, t=20cm) 計算用紙より			m2
184. 34	=	184. 34	184. 34
3. 補足材(割栗石50-150mm)			
計算用紙より 9.58	_	9. 58	m3
9. 58	=	9. 58	9. 58

底張コンクリート 計 算 用 紙

			リート	基礎		補足				
測点	距離	18-8-25B		割栗石50-15		割栗石5			摘	要
	(m)	L	A	L	A	A	V			
									NO. 0参照	
SP. 2	0.000	3. 20	_	2. 99	-					
No. 3 + 8.500	5. 319	3. 20	17. 02	2. 99	15. 90					
No. 3 + 18.800	9. 228	3. 20	29. 53	2. 99	27. 59					
NO. 4	1. 075	3. 20	3. 44	2. 99	3. 21	0.00	_			
EC. 2	5. 281	3. 20	16. 90	2. 99	15. 79	0.33	0.87			
NO. 5	14. 105	3. 20	45. 14	2. 99	42. 17	0.42	5. 29			
No. 5 + 16.300	16. 305	3. 20	52. 18	2. 99	48.75	0.00	3. 42			
NO. 6	3. 701	3. 20	11.84	2. 99	11. 07					
小 計①	55. 014		176.05		164. 48		9. 58			

底張コンクリート 計 算 用 紙

			リート		栗石		足材		
測点	距離	18-8-25B		割栗石50-15			50-150mm		摘 要
	(m)	L	A	L	A	A	V		
NO. 6	0.000	3. 20		2. 99	_				
NO. 6 + 6.100	6. 100	3.72	21. 11	3. 52	19.86				NO. 6+6. 40参照
小 計②	6. 100		21. 11		19.86		0.00		
合 計(①+②)	61. 114		197. 16		184. 34		9. 58		

	卞	十	古	数	量	訓	可 〓	E =				
名 称		É	位			量 12.1		左・右	数	量	摘	要
アンダードレンエ	SP.	2	付近	EP			付近	左	1	2	60. 631	/5≒12
								計	12億	<u> </u>		
止水壁工												
止水壁	NO.	6	+ 6.10	NO.	6	+	6. 40	左	15	式	0.5	2m3

<u>アンダードレン工</u>			10箇所当り
1. 水抜管(φ75)			箇所
(L=0.20m)	=	10.000	10
2. 単粒度砕石(30~20)			m3
$0.30 \times 0.30 \times 0.30 \times 10.00$	=	0. 270	0. 27

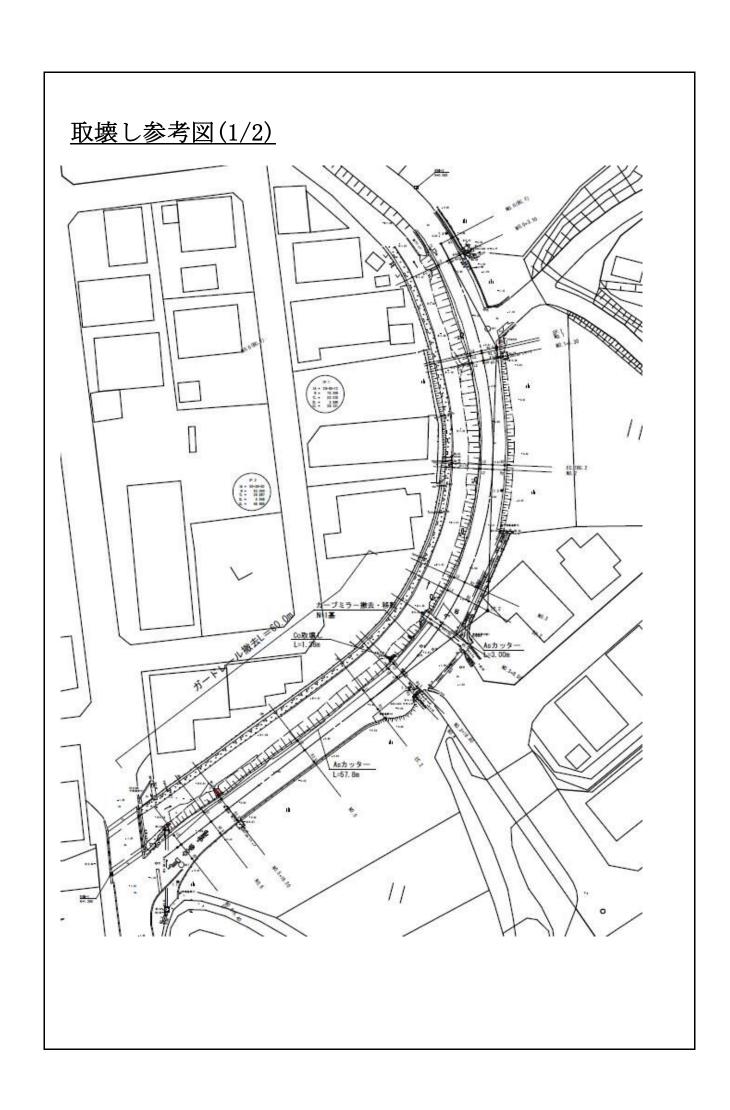
止水壁			1式当り
1. コンクリート (18-8-40BB)			m3
$0.30 \times 0.50 \times 3.46$	=	0. 519	0. 52
2. 同上型枠			m2
$0.500 \times 2 \times 3.46$	=	3. 460	3. 46
3. 基礎砕石(割栗石50-150mm, t=20cm)			
0.50×3.46	=	1.730	m2 1.73
4. 基面整正			m2
0.50×3.46	=	1. 730	1.73

構造物撤去工集計表

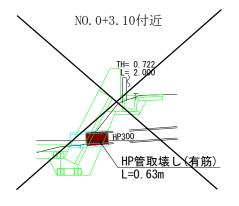
名 称	規格	単位	数量	備考
防護柵撤去工		式	1	
防護柵撤去	Gr-C-4E	m	60.0	
標識撤去工		式	1	
標識撤去•移設	撤去、再設置共	基	1	
構造物取壊し工		式	1	
コンクリート取壊し	無筋構造物	m3	0.9	
舗装版切断	As,t=10cm以下	m	60.8	
舗装版取壊し	As,t=5cm	m2	43.7	
運搬処理工		式	1	
殼運搬	As殼	m3	2.2	
殼運搬	Co殼,無筋	m3	0.9	
現場発生品運搬	鉄スクラップ	t	0.82	

=	60.00	60.00
=		
	1.00	基 1
=	0. 190	
=		m3
<u> </u>	0. 878	0.88
		n
=	60.80	60.80
		m2
=	43.72	43.72
	= = 計 =	= 0.515 = 0.173 計 = 0.878 = 60.80

4. 運搬処理工			
4-1. 殼運搬(As殼)			
43.72×0.05	=	2. 19	2. 19
4-2. 殼運搬(Co殼, 無筋)			
	=	0.88	0.88
4-3現場発生品運搬(鉄スクラップ)			
建設物価より1m当たり13.7kg			
t=0.0137×60.0	=	0.82	0.



取壊し参考図(2/2)

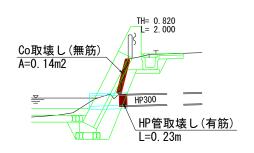


NO. 1+1. 30付近

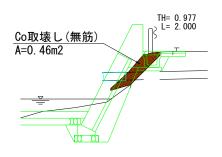
TH= 0. 763
L= 2. 000

HP管取壊し(存筋)
L=0. 18m

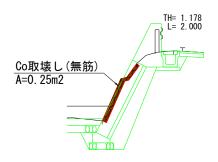
NO. 3+18. 80付近



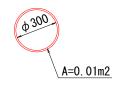
NO. 5+16. 30付近



NO. 6+6. 40付近



HP φ 300取壊し



舗 装 計 算 用 紙

No. 1		舗装版					
測点	距離	(t=5					摘 要
	(m)	L	A				
SP. 2 + 0.700	0.000	0.72	_				
SP. 2 + 4.482	3. 782	0.83	2. 93				NO. 3+8. 50 ブロック積参照
No. 3 + 9.113	0.000	0.83	_				NO. 3+8. 50 ブロック積参照
No. 3 + 18.800	9. 389	0. 99	8. 54				
NO. 4	1. 173	0.97	1.15				
EC. 2	5. 764	1. 23	6. 34				
NO. 5	14. 105	0. 51	12. 27				
No. 5 + 16.300	16. 304	0.36	7. 09				
小 計①	50. 517		38. 32				

舗 装 計 算 用 紙

		舗装版	取壊し					
測点	距離	(t=5					摘	要
	(m)	L	A					
NO. 5 + 16.300	0.000	0.36	_					
NO. 6	3. 701	0.39	1.39					
NO. 6 + 6.400	6. 413	0.86	4. 01					
小 計②	10. 114		5. 40					
合 計(①+②)	60. 631		43.72					

仮 設 工 集計表

名 称	規 格	単位	数量	備考
仮締切工		式	1	
大型土のう設置・撤去		袋	32	
大型土のう設置	耐久性袋	袋	3	
ポンプ排水		式	1.0	
ポンプ設置・撤去		箇所	1.0	
ポンプ運転		日	31	
交通誘導警備員		式	1.0	
	交通誘導警備員B	人日	29	

			1 式 Y N
仮設工集計計算書			1式当り
<u> </u>			
1. 仮締切工 大型土のう設置・撤去(1.08×1.10)			
擁壁工構造図より 16.0 + 16.0	=	32.0	袋 32
大型土のう設置			
擁壁工構造図より 3.0	=	3. 0	袋 3

水替対象日数計算表

「事区分・工種・種別・細」	規格	施工歩掛	施工条件	数量	単位	日当り 施工量	単位	日数	歩掛コード
築堤·護岸									
河川土工									
掘削工									
床掘									
		床掘り	工質=土砂; 施工万法=平均施工幅Im以上2m未満; 土留方式の種類=無し; 障 事の右無=無1	40	m 3	150	m 3/日	0.3	CB210030
埋戻									
		埋戻し	施工方法=最大埋戻幅1m未満	10	m 3	33	m 3/目	0.3	CB210410
法覆護岸工									
コンクリート積	1:0.5, 控35cm 積ブ ロック300*300*350								
		コンクリートブロッ ク積工	コンクリート積プロックの規格=JIS育面 150kg/個未満;時間的制約の有無 =無1: 夜間作業の有無=無1: 練積・	137	m 2	10	m 2 / 目	13. 7	WB825010
目地板	目地板の種類瀝青質 目地板t=10								
		目地板	1工事当り使用量=30m2未満; 目地板の 種類=瀝青質目地板t=10	5	m 2	9	m 2/目	0.6	CB224710
胴込·裏込材(砕石)	砕石規格再生砕石 RC-40								
		裏込材(クラッシャ ラン)	積張の区分=積工; 裏込材 (クラッシャラン) 規格=再生クラッシャラン RC-40	49	m 3	8.3	m 3/日	5. 9	CB221850
基礎工									
		現場打基礎コンク リート	生コグリート規格=18-8-40 (高炉); 基礎 砕石の有無=有り; 養生工の種類=一般 養生・蜂砕養生 (練炭)	6.6	m 3	3. 5	m 3/日	1. 9	CB226170
		目地板	1工事当り使用量=30m2未満; 目地板の 種類=瀝青質目地板t=10	0. 66	m 2	9	m 2 / 日	0. 1	CB224710
		基面整正		42	m 2	50	m 2 / 目	0.8	CB210080

水替対象日数計算表

事区分・工種・種別・細	規格	施工歩掛	施工条件	数量	単位	日当り 施工量	単位	日数	歩掛コード
小口止工(1)									
		小口止コンクリート 工	適用区分=^ ックホワ(クレーン機能付)チ1設; 規格=18-8-40(高炉・W/C=60%以下); コン クリート数量(m3/基)=0 6m3/基; 一般型枠	1	基				DXA27555
		基面整正		0.3	m 2	50	m 2/目	0	CB210080
小口止工(2)									
		小口止コンクリート 工	適用区分=^ ックホワ(クレーン機能付)チ]設; 規格=18-8-40(高炉・W/C=60%以下); コン クリート数量(m3/基)=0 6m3/基; 一般型枠	1	基				DXA27555
		基面整正		0.3	m 2	50	m 2/目	0	CB210080
擁壁工									
吐口擁壁工									
		コンクリート	構造物種別=無筋・鉄筋構造物; 打設上 法=バックホウ(クレーン機能付)打設; コンクリー ト担格=18-8-40(高炉): 養生工の種	0. 76	m 3	8	m 3/日	0.1	CB240010
		型枠	型枠の種類=一般型枠;構造物の種類= 鉄筋・無筋構造物	2. 68	m 2	38	m 2/目	0.1	CB240210
		基礎材	砕石の厚さ=17.5cmを超え20.0cm以下; 砕石の種類=再生クラッシャラン 40~0	1. 22	m 2	151	m 2/目	0	CB440840
		基面整正		1. 22	m 2	50	m 2/目	0	CB210080
管渠工									
台付管	Ф 300								
		鉄筋コンクリート台 付管	作業区分=据付; 官径=300mm; 1個当り の管長さ (実数入力) =1m/個; 費用の 内訳=全ての費用	1	m	44	m/目	0	CB222850
付帯工									
底張コンクリート工									
コンクリート									
		コンクリート	構造物種別=無筋・鉄筋構造物; 打設上 法=バックホウ(クレーン機能付) 打設; コンクリー ト担格=18-8-25(高恒): 養生工の種	39	m 3	8	m 3/目	4. 9	CB240010

水替対象日数計算表

[事区分・工種・種別・細胞	規格	施工歩掛	施工条件	数量	単位	日当り 施工量	単位	日数	歩掛コード
基礎栗石	割栗石50-150mm								
		基礎砕石	砕石の厚さ=17.5cmを超え20.0cm以下; 砕石の種類=砕石(各種);費用の内 記=全ての費田	184	m 2	155	m 2 / 目	1. 2	CB221110
アンダードレインエ									
アンダードレンエ									
		基礎砕石	(砕石の厚さ=27.5cmを超え30.0cm以下; 砕石の種類=砕石(各種);費用の内 訳=全ての費用	0.324	m 2	108. 5	m 2 / 日	0	CB221110
		暗渠排水管	作業区分=据付;管種別=直管;呼び径 =50~150mm;費用の内訳=全ての費用	12	m	175	m/目	0.1	CB222770
止水壁工									
止水壁	18-8-40BB								
		コンクリート	構造物種別=無筋・鉄筋構造物;打設上 法=バックホウ(クレーン機能付)打設;コンクリー ト規格=18-8-40(高恒): 養生工の種	0. 52	m 3	8	m 3/目	0.1	CB240010
		型枠	型枠の種類=一般型枠;構造物の種類= 鉄筋・無筋構造物	3. 46	m 2	38	m 2/目	0.1	CB240210
		基礎砕石	僻石の厚さ=17.5cmを超え20.0cm以下; 砕石の種類=砕石(各種);費用の内 訳=全ての費用	1. 73	m 2	155	m 2/日	0	CB221110
		基面整正		1. 73	m 2	50	m 2/目	0	CB210080
合 計							目	30. 2	

排水区分 作業時排水 水替日数合計 = 30.2 × 1.0 日 より 30.2 日

		•				I → \(\(\) \(\) \(\)	1.4	art at FFF			誘導警			
工事区分・工種・種別・細別	規格	施工歩掛	施工条件	数量	単位	日当たり	施工				大要員	計上	:人員	歩掛コード
	/устр	ルビエタ・1月	旭上木目	外至	十元	施工量	日数	Α	В	Α	В	Α	В	3-131 1
築堤·護岸														
河川土工														
掘削工														
掘削	土質土砂;施工方法片 切掘削													
		掘削	土質=土砂;施工方法=片切掘削	40	m 3			0	1	0	1			
床掘														
		床掘り	士質=士砂;施工方法=平均施工幅1m以 上2m未満;土留方式の種類=無し;障害 の有無=無し	10	m 3			0	1	0	1			
埋戻														
		埋戻し	施工方法=最大埋戻幅1m未満	4	m 3			0	1	0	1			
法覆護岸工														
コンクリートブ ロック工 (コンクリートブ														
ロック積)														
コンクリート積	1:0.5,控35cm 積ブ ロック300*300*350													
		コンクリートブロック 積工	コンクリート積ブロックの規格=JIS滑面 150kg/個未満; 時間的制約の有無=無し; 夜間作業の有無=無し; 練積・空積の区分=練積; 裏込コンリートの施工の有無=有(胴込+裏込); 胴込・裏込コンリリート使用量(実数)=0.32m3/m2; 生コンリリートの規格=18-8-25(20) (普通)	38	m 2			0	1	0	1			
目地板	目地板の種類瀝青質目 地板t=10													
		目地板	1工事当り使用量=30m2未満; 目地板の 種類=瀝青質目地板t=10	1	m 2			0	1	0	1			
胴込·裏込材(砕石)	砕石規格再生砕石 RC-													
	40													
		裏込材(クラッシャラ	積張の区分=積工;裏込材(クラッシャラン)	16	m 3			0	1	0	1			
		ン)	規格=再生クラッシャラン RC-40	10	шэ			U	1	U	1			
基礎工														
		現場打基礎コンクリート	生コンクリート規格=18-8-40(高炉);基礎 砕石の有無=有り;養生工の種類=一般 養生・特殊養生(練炭)	2	m 3			0	1	0	1			
		目地板	1工事当り使用量=30m2未満; 目地板の 種類=瀝青質目地板t=10	0. 2	m 2			0	1	0	1			
		基面整正		14	m 2			0	1	0	1			
小口止工(1)														
(-)		小口止コンクリートエ	適用区分=バックホウ(クレーン機能付)打設;規格=18-8-40(高炉・W/C=60%以下); コックリート数量(m3/基)=0.6m3/基; 一般型枠数量(m2/基)=3.99m2/基; 化粧型枠数量(m2/基)=0.86m2/基; 化粧型枠単価(円/m2)=3527円/m2; 構造物種別=無筋・鉄筋構造物	1	基			0	1	0	1			
		基面整正	WW 111 VE 10	U 3	m 2			0	1	0	1			
		公田正 L		0.0	111 4	I		U	1 1		1 1	· 1	1	

	•	1			T	1 → √(2), 10	1.6	wt-1 FFF			誘導警			
工事区分・工種・種別・細別	規格	施工歩掛	施工条件	数量	単位	日当たり	施工	,			要員		人員	歩掛コード
	,,,,,,,					施工量	日数	Α	В	Α	В	A	В	- ***
小口止工(2)		小口止コンクリート工	適用区分=バックホウ(クレーン機能付)打設;規格=18-8-40(高炉・W/C=60%以下); コンクリート数量(m3/基)=0.6m3/基; 一般型枠数量(m2/基)=3.99m2/基; 化粧型枠数量(m2/基)=0.86m2/基; 化粧型枠単価(円/m2)=3527円/m2; 構造物種別=無筋・鉄	0	基			0	1	0	1			
		基面整正	筋構造物	Λ	m 2			0	1	0	1			
擁壁工.		本 田 筆 正		U	m Z			U	1	U	1			
	18-8-40BB													
2 - 1	10-0-4000	現場打天端コンクリー ト	生コンクリート規格=18-8-40(高炉);養生 工の種類=一般養生	10	m3			0	1	0	1			
吐口擁壁工														
		コンクリート	構造物種別=無筋・鉄筋構造物;打設工法=バックホウ (クレーン機能付)打設;コンクリート規格=18-8-40(高炉);養生工の種類=一般養生;費用の内訳=全ての費用	0. 76	m 3			0	1	0	1			
		型枠	型枠の種類=一般型枠;構造物の種類= 鉄筋・無筋構造物	2. 68	m 2			0	1	0	1			
		基礎材	砕石の厚さ=17.5cmを超え20.0cm以下; 砕石の種類=再生クラッシャラン 40~0	1. 22	m 2			0	1	0	1			
		基面整正		1. 22	m 2			0	1	0	1			
付带道路施設工														
アスファルト舗装工														
上層路盤(車道・路肩 部)	路盤材種類粒度調整砕石 M-30;仕上り厚 100mm													
		上層路盤(車道・路肩 部)	材料=粒度調整砕石 M-30; 全仕上り厚 (実数入力) =100mm; 施工区分=1層施 工; 費用の内訳=全ての費用	13	m 2			0	1	0	1			
表層(車道・路肩部)	材料種類再生密粒度77 コン(13);舗装厚50mm;平 均幅員1.4m未満(1層当 り平均仕上り厚50mm以													
		表層(車道・路肩部)	平均幅員=1.4m未満(仕上厚50mm以下);1層当平均仕上厚50mm以下=50mm;材料=再生密粒度アスコン(13);瀝青材料種類=プライムコートPK-3;費用の内訳=全ての費用	13	m 2			0	1	0	1			
側溝工														
U型側溝	300A, 3種	- Tril fact Nills	H.NIC - D. Ind. I.											
		U型側溝	作業区分=据付け; L=1000・L=4000の使用の有無=無し; 夜間作業の有無=無し; U型側溝の種類=側溝(各種); U型側溝の規格・仕様=L=2000mm; U型側溝の質量=1000kg/個以下; 時間的制約の有無=無し; 施工箇所における補正=無し; 基礎砕石施工の有無=無し	22	m			0	1	0	1			

	T		1			H 1/2.2 16	# - -	交通誘導警備員 配置人員 交替要員 計上人員						
工事区分・工種・種別・細別	規格	施工歩掛	施工条件	数量	単位	日当たり	施工				要員			歩掛コード
			##\###延口! 何. 妳 . 斜. 妳 . #\#\# . 打記. 丁			施工量	日数	Α	В	Α	В	А	В	
		コンクリート	構造物種別=無筋・鉄筋構造物;打設工 法=バックホウ (クレーン機能付) 打設; コンクリート											
				1.51	m 3			0	1	0	1			
			一般養生;費用の内訳=全ての費用											
		基面整正		15.5	m 2			0	1	0	1			
蓋設置工		本田 走工		10.0	111 4			U	1	0	1			
亜队巨工		蓋版	作業区分=据付け; 夜間作業の有無=無											
		/IX	し;蓋版の種類=蓋版(各種);規格・											
			仕様区分=40kg/枚以下; 時間的制約の	19	枚			0	1	0	1			
			有無=無し;施工箇所における補正=無	10				Ů	1		1			
		蓋版	作業区分=据付け; 夜間作業の有無=無											
			し;蓋版の種類=蓋版(各種);規格・											
			仕様区分=40kg/枚以下;時間的制約の	3	枚			0	1	0	1			
			有無=無し;施工箇所における補正=無											
			L											
管渠工														
台付管	Φ300													
		4.4.	作業区分=据付; 管径=300mm; 1個当り					1						
		管	の管長さ(実数入力)=1m/個;費用の	1	m			0	1	0	1			
Lha - Nele			内訳=全ての費用											
塩ビ管	VP Φ 250	nule SER LIL. 1. Arte	16-18-19-19-19-19-19-19-19-19-19-19-19-19-19-											
		暗渠排水管	作業区分=据付;管種別=直管;呼び径	0	m			0	1	0	1			
集水桝工			=200~400mm; 費用の内訳=全ての費用											
果小ヤヤ		プレキャスト集水桝	作業区分=据付;製品質量(kg/基)											
		ノレイヤハド朱小柳	15条位分-鉛竹, 袋町員重 (kg/屋) =80kgを超え200kg以下; 基礎砕石の有	2	基			0	1	0	1			
			無=有り; 費用の内訳=全ての費用	4	巫			U	1	U	1			
		プレキャスト集水桝	※一月り, 貞川*ンドラル(-主 (*ン貞川											
		(材料費)		2	基			0	1	0	1			
付帯工		(1311)												
底張コンクリート工														
コンクリート														
		コンクリート	構造物種別=無筋·鉄筋構造物;打設工											
			法=バックホウ(クレーン機能付)打設; コンクリート	1.0				0	١ ,	0				
			規格=18-8-25(高炉);養生工の種類=	16	m 3			0	1	0	1			
			一般養生;費用の内訳=全ての費用											
基礎栗石	割栗石50-150mm													
		基礎砕石	砕石の厚さ=17.5cmを超え20.0cm以下;											
			砕石の種類=砕石(各種);費用の内訳	64	m 2			0	1	0	1			
			=全ての費用											
アンダードレインエ														
アンダードレン工		and relative to												
		基礎砕石	砕石の厚さ=27.5cmを超え30.0cm以下;		_									
			砕石の種類=砕石(各種);費用の内訳	0.081	m 2			0	1	0	1			
		마수 가득 뉘느 그 , ///	=全ての費用		-					 				
		暗渠排水管	作業区分=据付;管種別=直管;呼び径	4	m			0	1	0	1			
	<u> </u>		=50~150mm; 費用の内訳=全ての費用										I	l

		1	T			日当たり	施工	配置			誘導警		I B	
[事区分・工種・種別・細別	規格	施工歩掛	施工条件	数量	単位	ロヨにり 施工量	他工 日数	配直 A	八貝 B	交替 A		計上 A	入貝 B	歩掛コー
止水壁工						76-1-3E	F 2A	11	ט	11	- 0	7.1		
止水壁	' 18-8-40BB													
-		コンクリート	構造物種別=無筋·鉄筋構造物;打設工											
			法=バックホウ(クレーン機能付)打設; コンクリート	0.59	m 3			0	1	0	1			
			規格=18-8-40 (高炉) ; 養生工の種類=	0. 02	1111 5			U	1	U	1			
		THE LA	一般養生;費用の内訳=全ての費用											
		型枠	型枠の種類=一般型枠;構造物の種類= 鉄筋・無筋構造物	3.46	m 2			0	1	0	1			
		基礎砕石	欧肋・無肋骨垣物 砕石の厚さ=17.5cmを超え20.0cm以下;											
			砕石の種類=砕石(各種); 費用の内訳	1. 73	m 2			0	1	0	1			
			=全ての費用	2					•	Ŭ	_			
		基面整正	2 ** **	1. 73	m 2			0	1	0	1			
構造物撤去工														
防護柵撤去工														
防護柵撤去(ガードレール)														
		防護柵撤去工(ガード	施工区分=土中建込・標準型;規格・仕											
		レール撤去工)	様=Gr-B-4E; 夜間作業の補正=無; 時	22	m			0	1	0	1			
			間的制約を受ける場合の補正=無											
標識撤去工														
標識移設	撤去、再設置共	teach IV the Health III to the												
			形式=単柱式(基礎含む);施工規模加		++-			0	4	0				
		側式)	算=2基以下;時間的制約を受ける場合 の補正=無;夜間作業の補正=無	1	基			0	1	0	1			
			の補正-無,後則日来の補正-無											
コンクリート構造物取壊し	構造物区分無筋構造													
17// 1111/21/34/32 0	物;工法区分機械施工													
		構造物とりこわし	構造物区分=無筋構造物;工法区分=機											
			械施工;時間的制約の有無=無し;夜間	0.19	m 3			0	1	0	1			
			作業の有無=無し; 低騒音・低振動対策=	0.10	1111 0				1	V	1			
舗装版切断	舗装版種別アスファルト舗装		必要											
甜爱似奶奶	舗装版性別バババ舗装 版;アスファル/舗装版厚													
	15cm以下													
	TOOMS	舗装版切断	舗装版種別=アスファルト舗装版; アスファルト舗装											
			版厚=15cm以下;費用の内訳=全ての費	22	m			0	1	0	1			
			用											
舗装版破砕	舗装版種別アスファルト舗装													
	版;舗装版厚5cm	&&\+\ \=\ \ \cappa=\cappa=\cappa=\cappa=\cappa=\cappa=\cappa=\cappa=\cappa=\cappa=\cappa=\cappa=\cappa=\cappa=\cappa=\cappa=\cappa=\cappa=\cappa=\cappa=\cappa=\cappa=\cappa=\cappa=\cappa=\cappa=\cappa=\cappa=\cappa=\cappa=\cappa=\cappa=\cappa=\cappa=\cappa=\cappa=\cappa=\cappa=\cappa=\cappa=\cappa=\cappa=\cappa=\cappa=\cappa=\cappa=\cappa=\cappa=\cappa=\cappa=\cappa=\cappa=\cappa=\cappa=\cappa=\cappa=\cappa=\cappa=\cappa=\cappa=\cappa=\cappa=\cappa=\cappa=\cappa=\cappa=\cappa=\cappa=\cappa=\cappa=\cappa=\cappa=\cappa=\cappa=\cappa=\cappa=\cappa=\cappa=\cappa=\cappa=\cappa=\cappa=\cappa=\cappa=\cappa=\cappa=\cappa=\cappa=\cappa=\cappa=\cappa=\cappa=\cappa=\cappa=\cappa=\cappa=\cappa=\cappa=\cappa=\cappa=\cappa=\cappa=\cappa=\cappa=\cappa=\cappa=\cappa=\cappa=\cappa=\cappa=\cappa=\cappa=\cappa=\cappa=\cappa=\cappa=\cappa=\cappa=\cappa=\cappa=\cappa=\cappa=\cappa=\cappa=\cappa=\cappa=\cappa=\cappa=\cappa=\cappa=\cappa=\cappa=\cappa=\cappa=\cappa=\cappa=\cappa=\cappa=\cappa=\cappa=\cappa=\cappa=\cappa=\cappa=\cappa=\cappa=\cappa=\cappa=\cappa=\cappa=\cappa=\cappa=\cappa=\cappa=\cappa=\cappa=\cappa=\cappa=\cappa=\cappa=\cappa=\cappa=\cappa=\cappa=\cappa=\cappa=\cappa=\cappa=\cappa=\cappa=\cappa=\cappa=\cappa=\cappa=\cappa=\cappa=\cappa=\cappa=\cappa=\cappa=\cappa=\cappa=\cappa=\cappa=\cappa=\cappa=\cappa=\cappa=\cappa=\cappa=\cappa=\cappa=\cappa=\cappa=\cappa=\cappa=\cappa=\cappa=\cappa=\cappa=\cappa=\cappa=\cappa=\cappa=\cappa=\cappa=\cappa=\cappa=\cappa=\cappa=\cappa=\cappa=\cappa=\cappa=\cappa=\cappa=\cappa=\cappa=\cappa=\cappa=\cappa=\cappa=\cappa=\cappa=\cappa=\cappa=\cappa=\cappa=\cappa=\cappa=\cappa=\cappa=\cappa=\cappa=\cappa=\cappa=\cappa=\cappa=\cappa=\cappa=\cappa=\cappa=\cappa=\cappa=\cappa=\cappa=\cappa=\cappa=\cappa=\cappa=\cappa=\cappa=\cappa=\cappa=\cappa=\cappa=\cappa=\cappa=\cappa=\cappa=\cappa=\cappa=\cappa=\cappa=\cappa=\cappa=\cappa=\cappa=\cappa=\cappa=\cappa=\cappa=\cappa=\cappa=\cappa=\cappa=\cappa=\cappa=\cappa=\cappa=\cappa=\cappa=\cappa=\cappa=\cappa=\cappa=\cappa=\cappa=\cappa=\cappa=\cap	AAVHILETERI (222)) AAVHILE . 17274 Mr ~ 4											
		舗装版破砕	舗装版種別=アスファルト舗装版;障害等の有無=無し;騒音振動対策=必要;舗装版											
			悪=悪し,騒音振動対衆=必要,舗装版 厚=15cm以下;積込作業の有無=有り;	31	m 2			0	1	0	1			
			費用の内訳=全ての費用											
	J		122/19 - 1-24/2			⇒ 1								
						計		I					I	

特 記 仕 様 書

1. 総則

本工事は、鳥羽市建設工事執行規則の施工に関し必要な書類の様式を定める要綱、三 重県公共工事共通仕様書及び本特記仕様書に基づくものである。

2. 一般事項

- ・工事着工にあたり地域住民に連絡し、工事施工に支障のないようにすること。
- ・工事着工に先立ち、警察・消防に交通障害、工事届けを提出し、その写しを発注者へ 提出すること。
- ・本工事施工範囲内には水道管が埋設されているため、関係機関と事前に協議すること。
- 隣接する構造物に影響を与えないよう充分注意し予防策を講じること。
- ・安全管理・現場管理に留意し、事故の未然防止に努めること。

3. その他

- ・提出資料については、三重県建設工事実務必携、三重県公共工事共通仕様書、本特記 仕様書、及び監督員の指示によるものとする。
- ・その他必要な事項は、その都度監督員と協議し定めるものとする。

明 示 項 目	明 示 事 項	条 件 及 び 内 容
工程関係	□ 別途工事との工程調整が必要あり (別途工事名:)	□ 調整項目 (□ 資材等の流用 □ 仮設及び工事用道路等の調整 □ 建設機械等の調整 □ 施工順序の調整 □ その他 () □ 別途協議)
	(別述工争名: □ 施工時期、施工時間及び施工方法の制限あり	□
		施工方法(
	□ 他機関との協議が未完了	□ 協議が必要な機関名() 協議完了見込み時期()
	☑ 占用物件との工程調整の必要あり	☑ 占用物件名 (☑ 電気 □ 電話 ☑ 水道 □ ガス □ その他 ())
	□ 余裕期間設定工事	□ 発注者指定方式 本工事は余裕期間を設定する工事である。本工事の着手日は令和 年 月 日とする。余裕期間は契約締結日から工事着手日の前日までとする。なお、共通仕様書に規定する工期とは、本工事においては余裕期間を含んだ期間を指す。
		□ 任意着手方式 本工事は余裕期間を設定する工事である。受注者は、落札決定日の翌日から起算して3日以内に令和 年 月 日(工事着手期限日)までの期間内で工事着手日を決定し発注機関に通知することとし、本工事の着手日はその日とする。ただし、一度通知した着手日を変更することは認めない。また、休日(三重県の休日を定める条例第1条に規定する休日)を着手日に設定すること、及び設定した着手日により工期末が休日となる設定は認めない。余裕期間は契約締結日から工事着手日の前日までとする。なお、共通仕様書に規定する工期とは、本工事においては余裕期間を含んだ期間を指す。
		余裕期間設定工事については以下によるものとする。
	□ その他 ()	□ その他 ()
用地関係	□ 用地補償物件の未処理箇所あり	□ 未処理箇所 (□ 別添図等 □ No. ~No. □ 別途協議) □ 完了見込み時期 (□ 令和 年 月頃 □ 別途協議)
	□ 仮設ヤードの有無	□ 仮設ヤード (□ 官有地 □ 民有地 □ その他 () □ 別途協議) □ 仮設ヤード使用期間 () □ 仮設ヤードからの運搬距離 (L = km) □ 使用条件・復旧方法 ()
	□ その他()	□ その他()
公害対策関係	☑ 施工方法の制限あり	☑ 制限項目 (☑ 騒音 ☑ 振動 ☑ 水質 ☑ 粉じん ☑ 排出ガス □ その他 ()) □ 施工方法等 (□ 指定工法名 () □ その他 () □ 別途協議) □ 施工時期 ()
	□ 事業損失防止に関する調査あり	□ 調査項目 (□ 騒音測定 □ 振動測定 □ 水質調査 □ 近接家屋の事前・事後調査 □ 地盤沈下測定 □ 地下水位等の測定 □ その他 () □ 別途協議) □ 関途協議) □ 関途協議)
	□ その他 ()	その他(

⁽注)上記受託業務事項・条件及び内容のレ印当該欄は、作業に当たって制約を受ける事となるので明示する。 明示事項に変更が生じた場合及び明示されていない制約等が発生したときは、発注者と別途協議し適切な措置を講ずるものとする。 別途協議とは、設計・現場説明又は作業打合せ等により協議するものとする。

明示項目	明 示 事 項	条 件 及 び 内 容
安全対策関係	☑ 交通安全施設等の指定あり	□ 交通安全施設等の配置 (□別添図等 □ その他 () □別途協議) □ 交通誘導警備員の配置 (□別添図等 □ その他 () □別途協議) □ 指定路線 □ 指定路線以外 ② 概算人数による算出 ① 交通誘導警備員の人数は、概算数量としているため、設計変更の対象とする。
		③ 交通誘導警備員の配置完了後、協議により定めた実績人数が確認できる資料を提出すること。 □ 積上げによる算出 □ 配置人員数 (人) + 交代要員 (人) (うち交通誘導警備員A (0人)) (注:配置人員数の変更は原則行わないものとする。但し、交通誘導警備員Aが配置できない場合は変更の対象とする。) □ 交通誘導警備員の配置時間 () ▽ 交通誘導警備員の配置期間 () ▼ 交通誘導警備員配置の対象工種 (EC. 2~SP. 2の施工区間による設置)
	☑ 近接施設等に対する制限	 ☑ 既存施設あり ・近接公共施設 (□鉄道 ☑電気 □電話 ☑ 水道 □ガス □ その他()) ・近接施設(□ 擁壁()□ブロック塀 ☑ 家屋 □ その他()) ・現地の状況を適切に把握して施工を行うこと。 □ 工法制限あり ・制限を受ける工種 () ・制限内容 ()
	□ 土砂崩落・発破作業に対する防護施設等に指定あり	□ 安全防護施設等の配置 (□ 別添図等 □ その他 () □ 別途協議) □ 保安要員の配置 (□ 別添図等 □ その他 () □ 別途協議)
	☑ 現場での安全確保(自主施工の原則)	✓ 受注者は、工事中の適切な安全確保の措置等の一切の手段について、自らの責任において定め、工事を実施すること。✓ 設計図書に明示された施工条件と工事現場が一致せず、安全確保のために指定仮設の変更や計上が必要な場合は、監督員と協議を行い指示を受けた後、受注者として適切な安全確保の措置を講じたうえで、工事を実施すること。
	☑ 事故速報の提出	☑ 受注者は、工事の施工中に事故が発生した場合には、直ちに監督員に連絡するとともに、事故の概要を所定の書面により速やかに報告すること。
	口 その他 ()	□ その他(
	□ 一般道路(搬入路)の使用制限あり □ 仮設道路の設置条件あり	□ 経路及び使用期間の制限内容 (□ 別添図等 □ その他 (□ 別途協議) □ 使用中及び使用後の措置 (□ 別添図等 □ その他 (□ 別途協議) □ 用地及び構造 (□ 別添図等 □ その他 (□ 別途協議) □ 安全施設 (□ 別添図等 □ その他 (□ 別途協議)
	一その他(その他(

(注)上記受託業務事項・条件及び内容のレ印当該欄は、作業に当たって制約を受ける事となるので明示する。 明示事項に変更が生じた場合及び明示されていない制約等が発生したときは、発注者と別途協議し適切な措置を講ずるものとする。 別途協議とは、設計・現場説明又は作業打合せ等により協議するものとする。

明 示 項 目	明 示 事 項	条件及び内容
仮設備関係	□仮設備の設置条件あり	□ 使用期間及び借地条件 (□ 別添図等 □ その他()□ 別途協議) □ 転用あり (□ 兼用あり ()
	☑ 水替工(締切排水工)	 ☑ 施工条件の指定なし 施工条件の指定あり ① 水替工 (締切排水工)の水替日数は、概算数量としているため、設計変更の対象とする。 概算延べ水替日数: 日 ② 受注者は、工事着手前に計画工程表等(対象工種、期間等)を作成し、それを基に、監督員と必要とする水替日数を協議すること。工事着手後、計画を変更する必要が生じた場合は、随時、協議を行い、計画を見直すこと。なお、水替日数の算出は、県が定める作業日当たり標準作業量等を用い作成するものとし、現場条件等により県の標準作業量等と差が生じる場合は、その理由を明確にした計画をもって協議すること。また、実績日数の確認方法についても合わせて協議を行うこと。 ③ 水替工 (締切排水工)完了後、協議により定めた実績日数が確認できる資料を提出すること。 □ その他(
	□ 仮設物の構造及び施工方法の指定	□ 構造及び設計条件 (□ 別添図等 □ その他() □ 別途協議) □ 施工方法()
	一 その他(
建設発生土・ 産業廃棄物関係	☑ 建設発生土受入地の指定あり	☑ 受入地の条件 (☑ 別途図面 ☑ i搬距離 (L=6.9 km) □ 受入料金あり ☑ 受入料金なし □ 別途協議 □ その他 ())
	□ 建設発生土受入地未定	□ 受入地未定につき別途協議する。(□ 暫定運搬距離 L = km、 □ その他 ())
	☑産業廃棄物の処理条件あり	 ✓ 産業廃棄物の種類 (✓ コン塊 ✓ アス塊 □ 木材 □ 汚泥 □ その他 ()) 産業廃棄物の処分地 (✓ 再生処分場(丸又鉱業(株)) □ 最終処分場() □ 別添図書 □ その他 () □ 別途協議) 【注:特段の理由により処分先や運搬距離を明示する場合はその他の項目 () に記入のこと。】 四分場の受入条件 ()) 舗装切断時の排水処理 アスファルト・セメントコンクリート舗装の切断時に発生する排水 (泥水)を河川や側溝に排水することなく排水吸引機能を有する切断機械等により回収するものとする。また、回収水等は、産業廃棄物として取り扱うものとし、適正に処理しなければならない。「適正に処理」するとは、「廃棄物処理及び清掃に関する法律」に基づき、産業廃棄物の排出事業者(受注者)が産業廃棄物の処理を委託する際、適正処理のために必要な廃棄物情報(成分や性状等)を処理業者に提供することが必要である。なお、受注者は、回収水等の産業廃棄物管理票(マニフェスト)について、監督員に提示しなければならない。 ✓ 舗装切断時の回収水等の運搬・処理については、契約後、監督員と協議すること。
	□ その他 ()	□ その他()
工事支障物件関係	☑ 工事支障物件あり	□ 支障物件名 (□ 鉄道 □ 電話 □ 水道 □ ガス □ 有線 □ その他(家屋) □ 移設時期 (□ 令和 年 月 頃 □ 別途協議) □ 防護 ()
	□ その他	□ その他(

(注)上記受託業務事項・条件及び内容のレ印当該欄は、作業に当たって制約を受ける事となるので明示する。 明示事項に変更が生じた場合及び明示されていない制約等が発生したときは、発注者と別途協議し適切な措置を講ずるものとする。 別途協議とは、設計・現場説明又は作業打合せ等により協議するものとする。

明示項目	明 示 事 項	条件及び内容
薬液注入関係	□ 薬液注入工法等の指定あり	□ 設計条件() 工法区分() 材料種類() 施工範囲() □ 削孔数量() 注入量() その他()
	□ 提出書類あり □ 注入量の確認、注入の管理及び注入の効果の確認	□ 工法関係() 材料関係()
	□ その他()	□ その他()
再生材使用関係	☑ 再生材使用の指定あり	✓ 再生材の種類 (□ 再生Asコン □ 再生路盤材 ☑ 再生クラッシャーラン □ 道路用盛土材 □ 再生コン砂)✓ 再生材が使用出来ない場合の措置 (☑ 新材に変更 □ その他 () □ 別途協議)
	□ 六価クロム溶出試験あり(環境告示第46号溶出試験)	□ 再生コンクリート砂(1購入先当たり1検体の試験を行い、試験報告書には、使用する工事名称、所在地を記載する。)
	☑ 三重県リサイクル製品利用推進条例に基づく	☑ 三重県リサイクル製品利用推進条例に基づく認定製品を使用する。ただし、認定製品が入手できない場合は、監督員と別途協議すること。
	認定製品の使用について	(認定製品の品名:□ 盛土材 □ 埋戻し材 □ サンドクッション材 □ 上層路盤材 ☑ コンクリート二次製品 □ グレーチング □ その他 ())
		✓ 下記製品を本工事で使用する場合は、三重県リサイクル製品利用推進条例に基づく認定製品を使用するように努める。(認定製品の品名: 間伐材製工事用バリケード・看板・標示板)
	□ その他()	□ その他 (
	□ 工事用機材の保管及び仮置きの必要あり	□ 保管場所 () 期間 () その他 ()
	□ 現場発生品あり	□ 品名 () 数量 () 保管場所 () その他 ()
	□ 支給品あり	□ 品名 () 数量 () 引渡場所 () 時期 (令和 年 月 日) その他 ()
	□ 盛土材等工事間流用あり	□ 運搬方法 (□ 受注者で運搬 □ 受注者以外で運搬 □ 別途協議 □ その他 ()) □ 引渡場所 (□ 別添図等 □ 別途協議 □ その他 ()) 数量 () 運搬距離 (L= km)
	□ 現場環境改善費適用工事	□ 現場環境改善の内容(率分) (□ 現場環境改善の内容(積上) ()
	□ その他 ()	□ その他(
適用条件	☑ 適用条件	 ✓ 三重県公共工事共通仕様書(令和6年7月版)を適用(部分改定を行った内容も含む(最新改定:令和7年7月)) 編」を適用 ✓ 「土木構造物設計マニュアル(案) 編」を適用 ✓ デジタル工事写真の小黒板情報電子化に係る特記仕様書(鳥羽市HP「設計・積算情報」を参照) ✓ ダンプトラック等による過積載等の防止に関する特記仕様書を適用(鳥羽市HP「設計・積算情報」を参照) ✓ 「月2回土日完全週休2日制工事(発注者指定型)」に係る特記仕様書(鳥羽市HP「設計・積算情報」を参照) □ 「基礎工(既製杭工)特記仕様書」を適用(鳥羽市HP「設計・積算情報」を参照) □ その他(

明 示 項 目	明 示 事 項	条件及び内容
入札・契約方式	□ 入札時VE方式□ 契約後VE方式□ 設計・施工一括発注方式□ プロポーザル方式□ 総合評価方式	□ 契約前のVE提案に基づき施工しなければならない。 □ 契約後にVE提案を受け付ける。 □ 細部設計の承認を受けなければならない。 □ 本件工事で提案不履行があった場合は、本件工事完成年度の翌年度に総合評価方式で発注する案件(以下「発注工事」という。)で、 貴社の評価点において発注工事の加算点(満点)の1割を減点します。
電子納品	□ 工事完成図書(工事写真含む)☑ 電子納品対象外	□ 工事完成図書は電子納品とする。ただし、電子化が困難な部分について監督員と協議承諾を得たものについてはこの限りではない。 電子媒体の提出部数は、(□2部□(□)部)とする。 □ 三重県CALS電子納品運用マニュアル(令和 3年 7月改訂)を適用
地質調査の 電子成果品等	□ 地盤情報データベースの登録の必要あり	□ 検定及び登録機関(一般財団法人国土地盤情報センター(https://ngic.or.jp/)) □ 検定料金の計上(□ A検定□ B検定) (注:受注後、これにより難い場合は設計変更の対象とする。)
産業廃棄物税	□ 産業廃棄物税	□ 本工事には産業廃棄物税相当分が計上されていないため、受注者が課税対象となった場合には完成年度の翌年度の4月1日から8月31日までの間に別に定める様式に産業廃棄物税納税証明書等を添付して当該工事の発注者に対して支払請求を行うこと。なお、この期間を超えて請求することはできない。また、設計数量を超えて請求することはできない。
コリンズ 作成・登録	☑ コリンズ (CORINS) の作成・登録	☑ 三重県公共工事共通仕様書に基づき、コリンズ(CORINS)の作成・登録を行うこと。
	✓ 建設副産物情報交換システム□ 建設発生土情報交換システム	✓ 三重県公共工事共通仕様書に基づき、建設副産物情報交換システムにデータを入力すること。□ 三重県公共工事共通仕様書に基づき、建設発生土情報交換システムのデータ更新を行うこと。
下請関係 下請企業 次数制限	□ 下請企業の次数制限	□ 本工事における下請の次数は、2次(建築一式工事は3次)までとする。 上記次数を超える下請契約を締結する場合は、下請契約締結前に書面により発注者の承諾を得ること。
市内企業 優先使用	☑ 市内企業の優先使用	✓ 本工事において、下請契約を締結する場合は、当該契約の相手方(2次以下の請負人を含む)を史内に本店(建設業法において規定する主たる営業所を含む)を有する者を優先して選定するよう努めること。
県内産製品 優 先 使 用	☑ 建設資材の県内産製品優先使用	✓ 本工事に使用する建設資材について、規格・品質等の条件を満足するものについては、県内産資材の優先使用するよう努めること。✓ 本工事で使用する建設資材の調達にあたっては、極力県内の取り扱い業者から購入するよう努めること。
県産木材の 利用推進	□ 界産木材の利用を指定する工種あり	□ 次の工種においては、県産木材を利用する。ただし、県産木材が利用できない場合は、監督員と別途協議すること。 (工種:□ 工事案内看板(標示板)□ 仮設防護柵工□ 公園施設工(□ 抽報支柱工□ 木製ガードレール□ 柵工□ 筋工□ 型枠工□ 視線誘導標□ 治山ダム工□ 土留工□ 伏工(□)□ 階段工□ 案内標識□ その他(□)□ 上記で指定した工種においては、県産木材の使用が証明できる資料(県産材証明書、納品書等)を監督員に提出しなければならない。□ 加圧注入による防腐・防蟻処理の性能区分について、設計図書に明示あり。□ 加圧注入による防腐・防蟻処理の性能区分を証明できる品質証明書等を監督員に提出すること。□ 木製ガードレールについては、平成10年11月5日付建設省道環発第29号「防護柵設置基準の改定について」及び同関連通達「車両用防護柵性能確認試験方法について」に定められた試験方法により、土木研究センターにて検証し防護柵の性能を満たしたものであることを証明できる品質証明書等を監督員に提出すること。

(注)上記受託業務事項・条件及び内容のレ印当該欄は、作業に当たって制約を受ける事となるので明示する。 明示事項に変更が生じた場合及び明示されていない制約等が発生したときは、発注者と別途協議し適切な措置を講ずるものとする。 別途協議とは、設計・現場説明又は作業打合せ等により協議するものとする。

明示項目	明 示 事 項		条 件 及 び 内 容
不当介入を 受けた場合の 措置	☑ 不当介入を受けた場合の措置	V	暴力団員等による不当介入(三重県公共工事等暴力団等排除措置要綱第2条第1項第14号)を受けた場合の措置について (1)受注者は暴力団員等(三重県公共工事等暴力団等排除措置要綱第2条第1項第12号)による不当介入を受けた場合は、断固と してこれを拒否するとともに、不当介入があった時点で速やかに三重県警察本部に通報を行うとともに、捜査上必要な協力を 行うこと。
			(2) (1)により三重県警察本部に通報を行うとともに、捜査上必要な協力を行った場合には、速やかに発注者に報告すること。発注者への報告は必ず文書で行うこと。
			(3) 受注者は暴力団員等により不当介入を受けたことから工程に遅れが生じる等の被害が生じた場合は、発注者と協議を行うこと。
社会保険等未加入 対策	✓ 社会保険等未加入対策 (健康保険、厚生年金保険及び雇用保険)	Ø	適用除外でないにも関わらず社会保険等に未加入である建設業者を下請負人としてはならない。 受注者は、施工体制台帳・再下請負通知書の「健康保険等の加入状況」欄により下請業者が社会保険等に加入しているかどうかを確認 すること。また、発注者が加入状況を証明する書類の提出又は提示を求めた場合、速やかに対応すること。

